Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-ERGO-V

http://www.prodjnet.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

本書では、コンピュータ画面に表示される画面名、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例：[**RECORD**] パネル , [**CONFIG**] メニュー , [**CUE**] ボタン , [**VINYL**] モード , [**AUX IN**] 端子)

01 はじめに

本機の特長 3
システムセットアップ例 3
付属品を確認する 4
LAPTOP DOCK を使う 4
脚を取り外して使う 4

02 準備する

ソフトウェアをインストールする 5

03 接続する

各端子の名称 9
入力 / 出力端子に接続する 10

04 各部の名前とはたらき

コントロールパネル 11
1 ブラウザ 12
2 デッキ 13
3 ミキサー 14
4 エフェクト 15
5 サンプラー 16
6 ビデオ 17

05 操作する（基本編）

システムを起動する 18
トラックをロードして再生する 19
音声を出力する 19
ミックスする 19
システムを終了する 19

06 操作する（応用編）

CUE を使う 20
LOOP を使う 20
HOT CUE を使う 20
EFFECT を使う 21
SAMPLER を使う 21
VIDEO 機能を使う 21
4 つのデッキを操作する 22
外部機器またはマイクの音声を入力する 22
その他の機能 22

07 MIDI メッセージ一覧

1 ブラウザ 24
2 デッキ 24
3 ミキサー 25
4 エフェクト 27
5 サンプラー 28
6 ビデオ 29

08 その他

故障かな？と思ったら 30
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する 31
保証とアフターサービス 31
商標および登録商標について 31
著作権についてのご注意 31
仕様 32

はじめに

本機の特長

本機は、当社プロフェッショナル DJ 機器と同じ操作パネルレイアウトを採用しながら、白く丸みを帯びた親しみやすい形にすることで、これから DJ を始めようとするかただけでなく、既にご自宅などで DJ プレイを始めているかたまで、幅広いお客様にさまざまなシーンで DJ プレイをお楽しみいただけるようデザインされています。

PULSE CONTROL

4 つの青色 LED を搭載した新開発ジョグダイヤル「Pure Platter」と、内部に LED を搭載したチャンネルフェーダーを採用することで、DJ プレイ操作やエフェクトなどに連動してイルミネーションが変化し DJ プレイを華やかに演出します。

- Mix Pulse：2 つのデッキのテンポのずれをジョグダイヤルの青色イルミネーションで表します。2 つのデッキのテンポが一致すると青色イルミネーションが明るく点灯し、ずれが大きくなるにしたがって暗く点灯します。
- Beat Pulse：デッキの音声レベルに応じてチャンネルフェーダーのイルミネーションが点滅します。
- Launch Pulse：トラックをロードするとデッキ部のイルミネーションが変化します。
- FX Pulse：エフェクト操作に応じてジョグダイヤルのイルミネーションが変化します。

DESIGN

さまざまなライフスタイルに合う丸みを帯びたボディと白のサイドパネルを採用し、あらゆるインテリアに調和するようデザインしています。カラーリングは、トップパネルは黒のグラデーション、ジョグダイヤルは黒と銀のハーフトーンとし、ジョグダイヤルイルミネーションに青色 LED を追加しています。また、操作パネルのボタンやツマミの配置は当社プロフェッショナル DJ 機器と同じ配置を採用しています。

LAPTOP DOCK

本体を斜めに設置して、ノートパソコンのキーボード部分を本機の下に差し込む新「Laptop Dock」構造を採用しています。
小さなスペースに設置できるだけでなく、脚をつけたまま本体を斜めにして椅子に座ったまま操作したり、脚を外して立って操作することもできるので、さまざまなスタイルで DJ プレイをお楽しみいただけます。

VIRTUAL DJ LE

DJ プレイの基本機能が充実した DJ ソフトウェア「Virtual DJ Limited Edition」を同梱しています。
ループ、エフェクト、サンプラー、4 チャンネルミックス、およびビデオなど多彩な機能をお使いいただけるだけでなく、本機の操作パネルに合わせたパイオニアオリジナルデザインスキンを表示できます。
また、VIRTUAL DJ LE 以外のさまざまな DJ ソフトウェアのコントロールにも対応しています。

USB BUS POWER

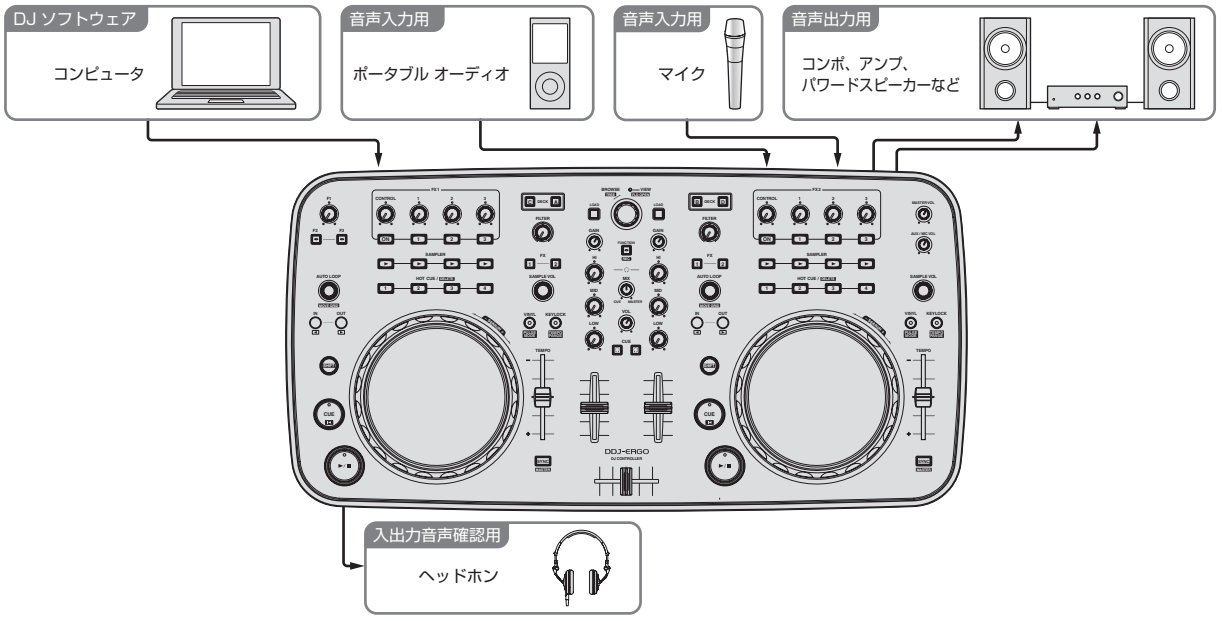
USB バスパワーに対応しています。USB ケーブルで本機とコンピュータをつなぐだけで使うことができます。

HIGH SOUND QUALITY

パイオニア製 DJ ハードウェアで培った音質技術を継承し、クラス最高レベルの音質を実現しています。

システムセットアップ例

本機とコンピュータおよび周辺機器の組み合わせによって、以下の図のような DJ システムを構築できます。



付属品を確認する

- VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM
- ドライバソフトウェア / 取扱説明書 CD-ROM
- USB ケーブル
- ご使用の前に (重要)
- クイックスタートガイド
- Hardware Diagram for Virtual DJ (機能対応表)
- サービス窓口のご案内
- 保証書

LAPTOP DOCK を使う

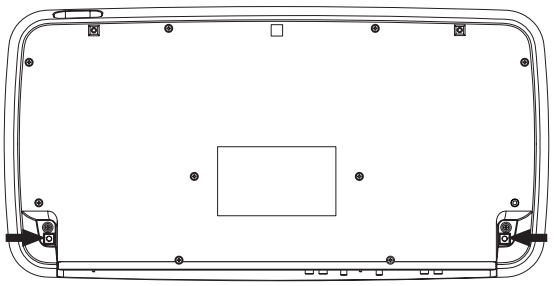
本機の下にコンピュータのキーボード部分を収納できます。

- お使いのコンピュータ (ノート型) のサイズによっては LAPTOP DOCK に収納できないことがあります。
- コンピュータ本体が本機に接触しないように設置してください。
- コンピュータに接続しているケーブル類を本機が踏まないように設置してください。

脚を取り外して使う

本機の 2 本の脚は、取り外すことができます。

左側、右側の脚のネジをプラスドライバーで外す



- 取り外したネジは、脚を取り付けるときに必要です。なくさないように保管してください。ほかのネジを使うと正常に取り付けられません。

準備する

ソフトウェアをインストールする

VIRTUAL DJ LE ソフトウェアについて

VIRTUAL DJ LE は Atomix productions 社製の DJ ソフトウェアです。このソフトをインストールしたコンピュータと本機を接続して DJ プレイを楽しむことができます。

最低動作環境

対応 OS	CPU および必要メモリー
Mac OS X 10.5.x	Intel® プロセッサ
	1 GB 以上の RAM
Windows® XP (SP3 以降)	Intel® Pentium® 4 または AMD Athlon™ XP プロセッサ
	512 MB 以上の RAM

その他	
ハードディスク	50 MB 以上の空き容量
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ
USB ポート	コンピュータと本機を接続するために USB2.0 ポートが必要です。
ディスプレイ解像度	1 024 x 768 以上の解像度

推奨動作環境

対応 OS		CPU および必要メモリー
Mac OS X 10.6.x		Intel® プロセッサ
		2 GB 以上の RAM
Windows® 7 Professional	32 ビット版	Intel® Core™ 2 または AMD Athlon™ X2 プロセッサ
		1 GB 以上の RAM

その他	
ハードディスク	200 MB 以上の空き容量
ディスプレイ解像度	1 280 x 1 024 以上の解像度 (Windows) 1 440 x 900 以上の解像度 (Mac)

ビデオミキシングを行う場合は、以下の条件も満たす必要があります。

- Mac
  - ATI™ または NVIDIA® ビデオチップセット、専用の 256 MB の DDR3 RAM ビデオメモリ
  - ビデオカードがデュアルモニター出力をサポートしている必要があります。
- Windows
  - ATI™ または NVIDIA® ビデオカード、専用の 256 MB の DDR3 RAM ビデオメモリ
  - ビデオカードがデュアルモニター出力をサポートしている必要があります。
- 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリー不足でソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで VIRTUAL DJ LE をお使いください。
- お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、VIRTUAL DJ LE の動作に不具合が発生することがあります。

❖ VIRTUAL DJ LE ソフトウェアをインストールする

- 付属ソフトウェアがインターネット接続を伴う場合の注意
  インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要になります。

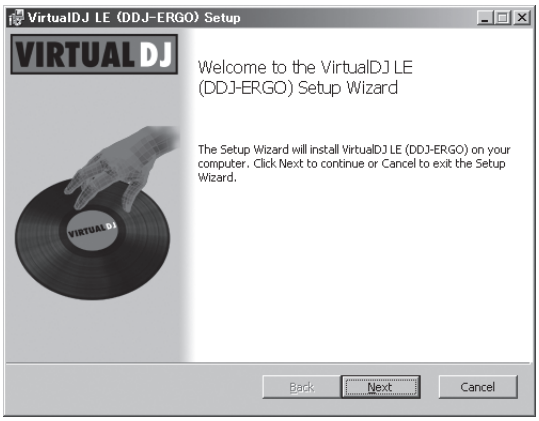
❖ インストール手順について (Windows)

1 付属の VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

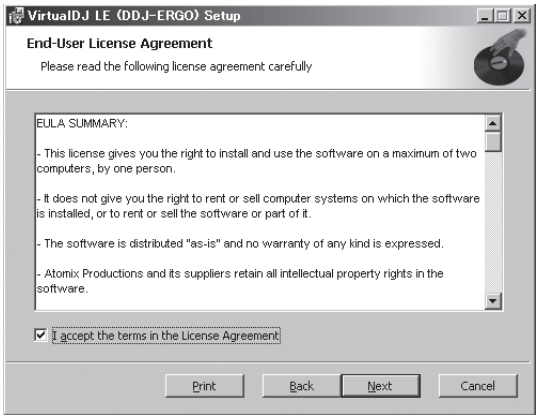
2 Windows の [スタート] メニューから、[コンピュータ (またはマイコンピュータ)] > [VirtualDJ_LE] のアイコンをダブルクリックする
CD-ROM の内容が表示されます。

3 [install_virtualdj_le_ergo_v7.x.x.msi] をダブルクリックする
VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動します。

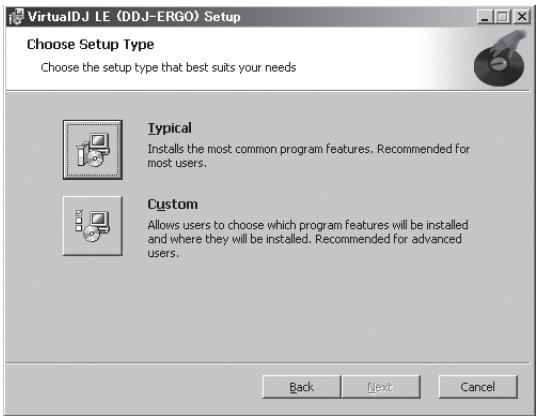
4 VIRTUAL DJ LE インストーラーが起動したら [Next] をクリックする
— 前の画面へ戻るときは [**Back**] をクリックします。
— インストールを中止するときは [**Cancel**] をクリックします。


VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) Setup
VIRTUAL DJ
Welcome to the VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) Setup Wizard
The Setup Wizard will install VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) on your computer. Click Next to continue or Cancel to exit the Setup Wizard.
Back
Next
Cancel

5 [End-User License Agreement] の内容をよく読み、同意するときは [I accept the terms in the License Agreement] にチェックを入れて [Next] をクリックする
[**End-User License Agreement**] の内容に同意しないときは [**Cancel**] をクリックしてインストールを中止してください。

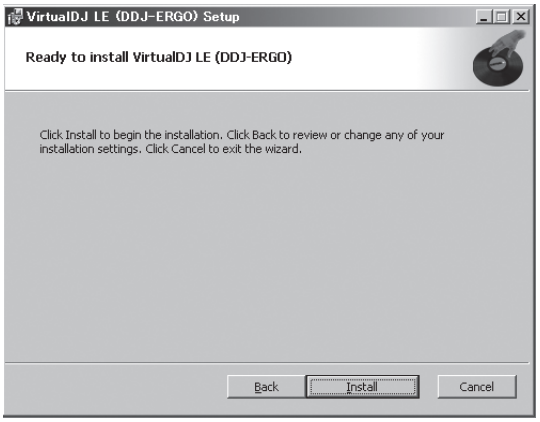

VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) Setup
End-User License Agreement
Please read the following license agreement carefully
EULA SUMMARY:
- This license gives you the right to install and use the software on a maximum of two computers, by one person.
- It does not give you the right to rent or sell computer systems on which the software is installed, or to rent or sell the software or part of it.
- The software is distributed "as-is" and no warranty of any kind is expressed.
- Atomix Productions and its suppliers retain all intellectual property rights in the software.
I accept the terms in the License Agreement
Print
Back
Next
Cancel

6 VIRTUAL DJ LE のインストールの種類を選んで [Next] をクリックする
— [**Typical**] を選ぶとプラグインなども同時にインストールされます。通常は [**Typical**] を選んでください。
— [**Custom**] を選ぶとインストールする内容を任意で選べます。



7 以下の画面が表示されたら [Install] をクリックする

インストールが始まります。
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。



8 [Finish] をクリックする

インストールが完了します。
画面上の [**Launch VirtualDJ**] にチェックを入れたまま [**Finish**] をクリックすると、VIRTUAL DJ LE が起動します。

9 VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [OK] をクリックする

❖ インストール手順について (Mac OS X)

1 付属の VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

画面上に [**VirtualDJ_LE**] のアイコンが表示されます。

2 [VirtualDJ_LE] のアイコンをダブルクリックする

CD-ROM の内容が表示されます。

3 [install_virtualdj_le_ergo_v7.x.x.pkg] をダブルクリックする

VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) インストーラーが起動します。

4 VirtualDJ LE (DDJ-ERGO) インストーラーが起動したら [続ける] をクリックする

5 使用許諾契約の内容をよく読み、[続ける] をクリックし、同意する場合は [同意する] をクリックする

使用許諾契約に同意しないときは [**同意しない**] をクリックしてください。

6 VIRTUAL DJ LE のインストールの種類を選んで [インストール] をクリックする

— 通常は標準インストールを選んでインストールしてください。
— 任意のインストール場所を選ぶときは、[**インストール先を変更…**] をクリックしてインストール場所を選んでください。

インストールが始まります。
インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。

7 [閉じる] をクリックする

インストールが完了します。

❖ VIRTUAL DJ LE ソフトウェアの最新情報を確認する

最新の動作環境、互換性、および最新の OS システムを取得するには、以下の Atomix productions 社のウェブサイトを参照してください。
http://www.virtualdj.com

ドライバソフトウェアについて (Windows)

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

❖ ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書 (以下「本契約」といいます) は、お客様とパイオニア株式会社 (以下「当社」といいます) との間における、DJ 機器用ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) の使用に関する事項を定めるものです。
本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

(使用許諾)

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータにインストールして使用することができます。

(制限事項)

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等をすることはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニ

アリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

(著作権等)
本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

(保証及び技術サポートの否認)
本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

(責任制限)
当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害 (利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません) に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

(準拠法)
本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意 (それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません) に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

❖ ドライバソフトウェアをインストールする

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

動作環境

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ [1]
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP2 以降)	32 ビット版	○

[1] 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアをインストールする前に

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。
- コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。
- ドライバソフトウェアをインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてからインストールしてください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

1 コンピュータの電源をオンにする

2 付属のドライバソフトウェア CD-ROM をコンピュータの CD ドライブに挿入する

3 CD-ROM のメニューが表示されたら、[Pioneer_DDJ_Driver_XXXXX.exe] をダブルクリックする

4 画面の指示に従ってインストールする
インストールの途中で [**Windows セキュリティ**] 画面が表示されることがありますが、[**このドライバソフトウェアをインストールします**] をクリックしてインストールを続行してください。
- Windows XP にインストールしているとき
  インストールの途中で [**ハードウェアのインストール**] 画面が表示されることがありますが、[**続行**] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

❖ 本機とコンピュータを接続する

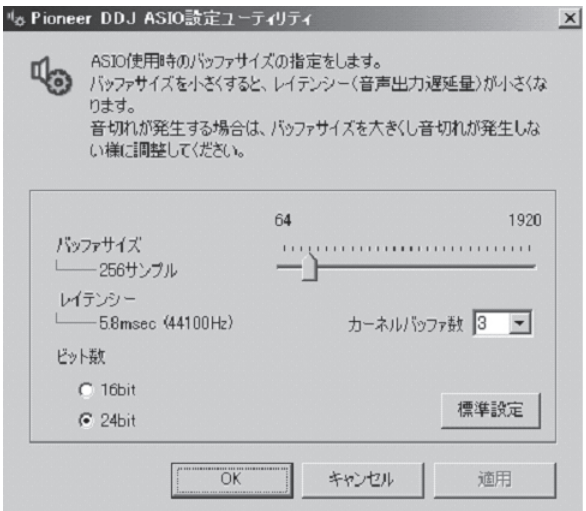
1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する
接続の仕方については、10ページ の「入力 / 出力端子に接続する」をご覧ください。

2 本機の [ON/OFF] スイッチを [ON] の位置にスライドさせる
本機の電源をオンにします。
- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

❖ バッファサイズを調整する

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。
- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJ ソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ]>[Pioneer DDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。

- カーネルバッファ数を大きくすると、音とぎれが生じにくくなりますが、レイテンシーによるタイムラグが増大します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

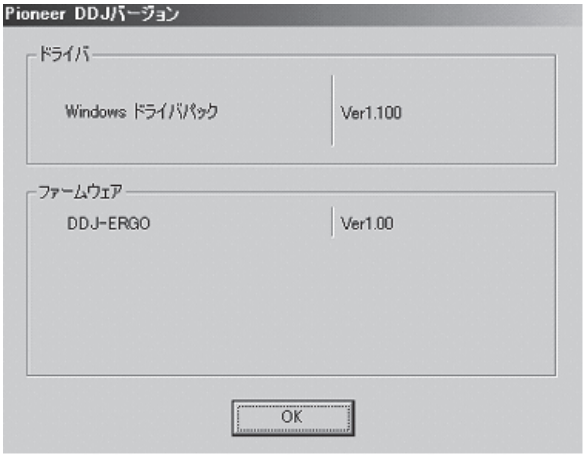
① バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する
② カーネルバッファ数を [**2**] に設定して、音とぎれが発生するか確認する
— 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [**3**] に設定してください。

初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

① カーネルバッファ数を [**4**] に設定にした後、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

❖ ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

Windows の [スタート] メニュー >[すべてのプログラム]>[Pioneer]>[DDJ]>[DDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする



- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。
- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

❖ ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。
http://www.prodjnet.com/support/

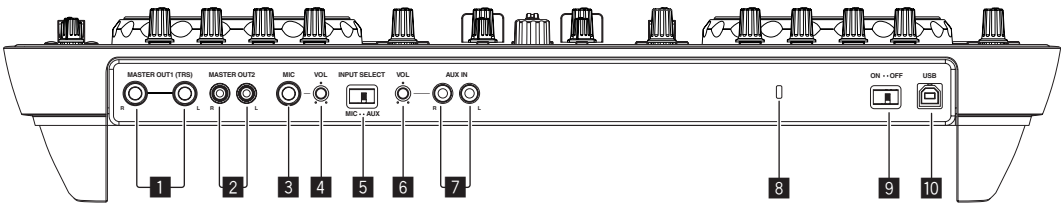
接続する

機器の接続や変更は、必ず電源を切ってから行ってください。
USB ケーブルは必ず本製品に付属のものをお使いください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
本機は USB バスパワーで電源が供給されます。USB ケーブルで本機とコンピュータを接続するだけで使用できます。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- 本機を接続するコンピュータは、AC 電源に接続してください。
- USB ハブは使えません。
- 以下のような場合は、電源が不足して本機が USB バスパワーで動作しないことがあります。
  - コンピュータ本体の USB ポートの電源供給能力が不足している。
  - コンピュータに他の USB 機器を接続している。
  - インピーダンスが 32 Ω より小さいヘッドフォンを接続している。
  - ステレオフォーンジャックとステレオミニフォーンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続している。
  - [**PHONES**] 端子にモノラルジャックを接続している。
- 本機は USB バスパワーで動作できないときは、エマージェンシー (機能制限) モードで動作することがあります。
  エマージェンシーモードでは以下の制限があります。
  - ヘッドホンの音量が小さくなる。
  - 選んでいるデッキの [**DECK**] ボタンが点滅する。

各端子の名称

本体背面部



1 MASTER OUT 1 端子
パワードスピーカーなどを接続します。
TRS フォーンジャックのため、バランス出力、アンバランス出力に対応しています。

- アンバランス出力時にレベルを上げすぎると音声が歪みます。

2 MASTER OUT 2 端子
パワーアンプなどを接続します。

3 MIC 端子
マイクを接続します。

4 MIC VOL ツマミ
[**MIC**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

5 AUX、MIC 切換スイッチ
音声の入力を外部機器またはマイクに切り換えます。

- [**AUX**]：[**AUX**] 端子に接続している外部機器を選びます。
- [**MIC**]：[**MIC**] 端子に接続しているマイクを選びます。
- [**MIC**] 端子または [**AUX**] 端子から入力される音声は、[**MASTER OUT**] にミックスされます。

6 AUX IN VOL ツマミ
[**AUX IN**] 端子に入力される音声レベルを調整します。

7 AUX IN 端子
外部機器 (サンプラーやポータブルオーディオ) の出力端子と接続します。

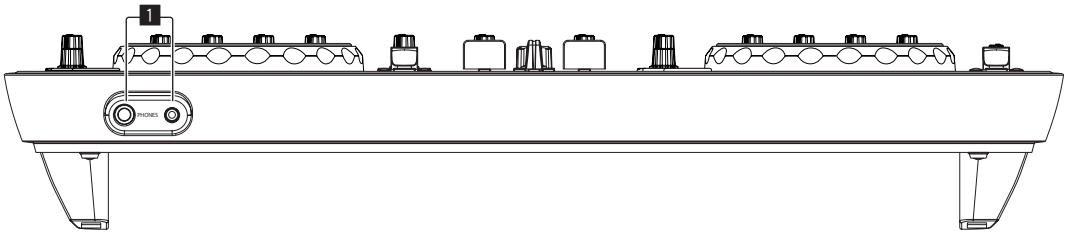
8 ケンジントンロック装着用穴

9 ON/OFF スイッチ
本機の電源をオン / オフします。

10 USB 端子
コンピュータと接続します。

- 本機とコンピュータは付属の USB ケーブルで直接接続してください。
- USB ハブは使えません。

本体前面部

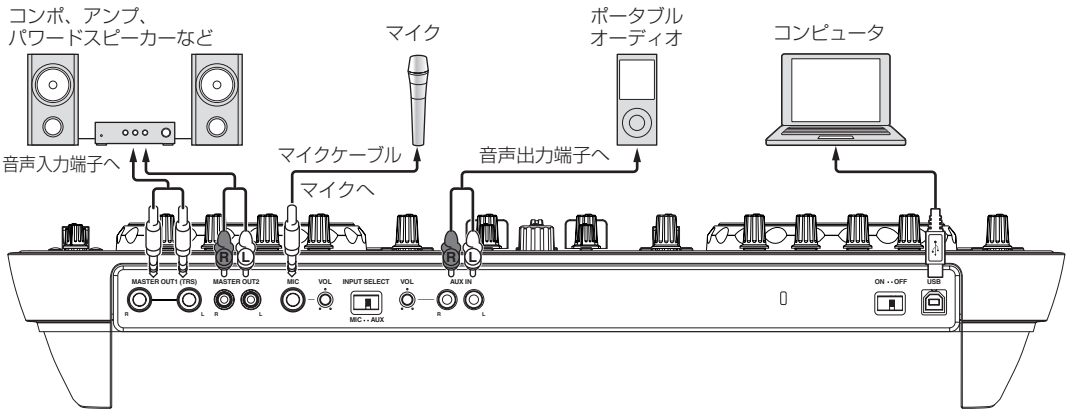


1 PHONES 端子
ヘッドホンを接続します。
ステレオフォーンプラグ (Ø 6.3 mm) とステレオミニフォーンプラグ (Ø 3.5 mm) に対応しています。

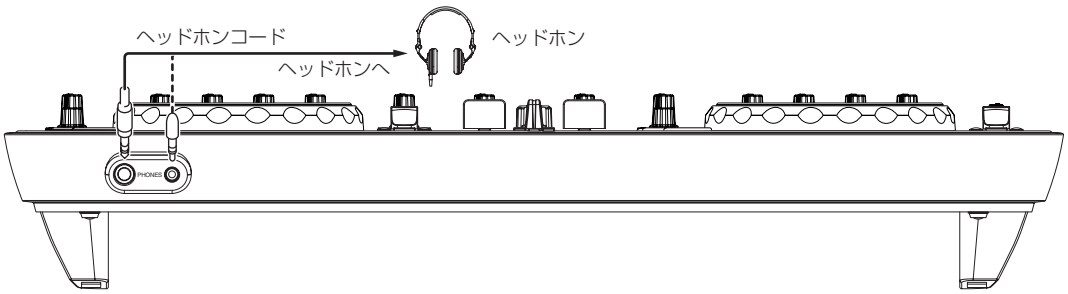
- インピーダンスが 32 Ω以上のヘッドフォンを接続してください。インピーダンスが 32 Ωより小さいヘッドフォンには対応していません。
- ステレオフォーンジャックとステレオミニフォーンジャックの両方にヘッドホンを同時に接続しないでください。

入力 / 出力端子に接続する

本体背面部

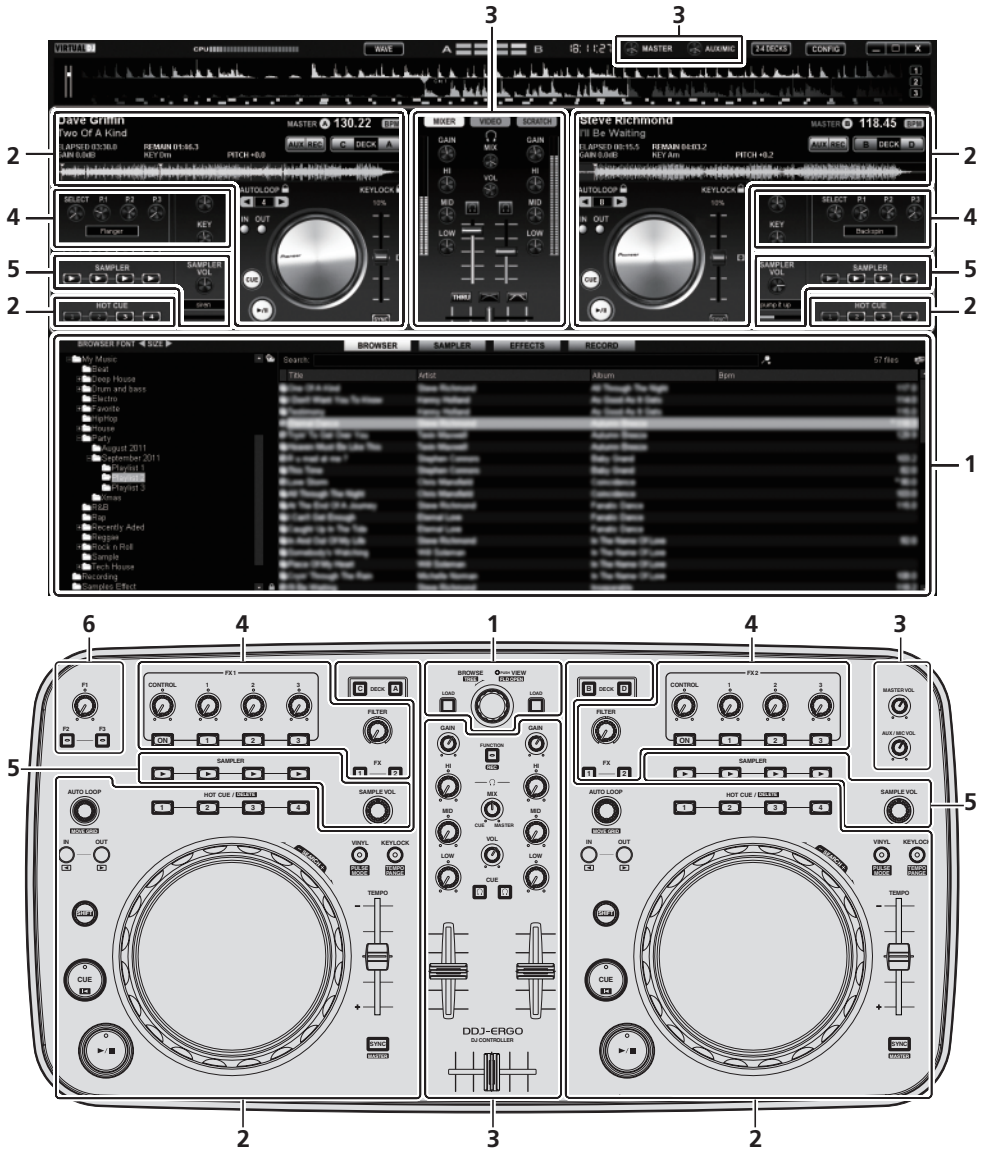


本体前面部



各部の名前とはたらき

コントロールパネル



1 ブラウザ (12ページ)

2 デッキ (13ページ)

3 ミキサー (14ページ)

4 エフェクト (15ページ)

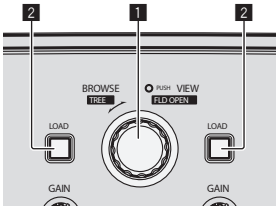
5 サンプラー (16ページ)

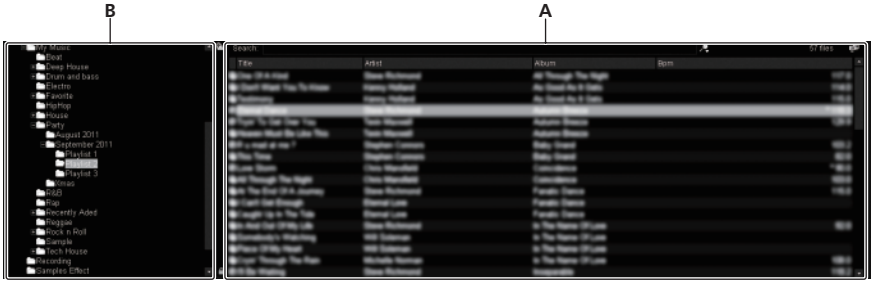
6 ビデオ (17ページ)

上記画面は 2 デッキレイアウトの画面です。

- デッキレイアウトの変更方法については、22ページ の「4 つのデッキを操作する」を参照してください。

1 ブラウザ





1 ロータリーセレクター

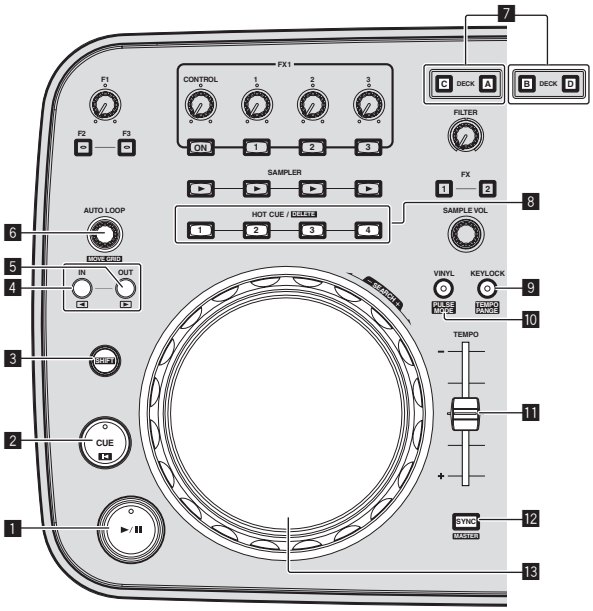
- 回す：
  上図 A の部分でカーソルが移動します。
- 押す：
  [**BROWSE**] エリアの拡大表示をオン / オフします。
- [**SHIFT**] + 回す：
  上図 B の部分でカーソルが移動します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  上図 B の部分でフォルダを開閉します。

＊ [**BROWSE**] パネル以外のパネルが表示されているとき、ロータリーセレクターを回すと [**BROWSE**] パネルが表示されます。

2 LOAD ボタン

カーソルで選んでいるトラックを各デッキにロードします。

2 デッキ



1 ▶/II ボタン
トラックを再生 / 一時停止します。

2 CUE ボタン
- 押す：
  キューポイントを設定します。またはキューポイントに移動します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  再生位置がトラックの先頭に移動します。

3 SHIFT ボタン
[**SHIFT**] ボタンを押しながら他のボタンを押すと別の機能を呼び出せます。

4 IN ボタン
- 押す：
  ループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) を設定します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  ループ再生の区間がトラックの先頭方向に 1 拍分移動します。

5 OUT ボタン
- 押す：
  ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) を設定します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  ループ再生の区間がトラックの終了方向に 1 拍分移動します。

6 AUTO LOOP (MOVE GRID) ツマミ
- 回す：
  ループ再生の区間の幅を変更します。
- 押す：
  ループ再生をオン / オフします。
- [**SHIFT**] + 回す：
  ビートグリッドの位置を移動します。

＊ この機能は VIRTUAL DJ PRO へのアップグレードをするとお使いいただけます。

- [**SHIFT**] + 押す：
  ループ再生に戻ります。(リループ)

7 DECK ボタン
操作するデッキを切り換えます。

8 HOT CUE/DELETE ボタン
- 押す：
  ホットキューポイント設定します。またはホットキューを再生します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  押したボタンに設定されているホットキューを削除します。

9 KEYLOCK (TEMPO RANGE) ボタン
- 押す：
  キーロック機能をオン / オフします。
- [**SHIFT**] + 押す：
  押すたびに [**TEMPO**] スライダーの可変範囲を切り換えます。

10 VINYL (PULSE MODE) ボタン
- 押す：
  [**VINYL**] モードをオン / オフします。
- [**SHIFT**] + 押す：
  ジョグダイヤルのイルミネーションモード (Pulse Mode) を切り換えます。

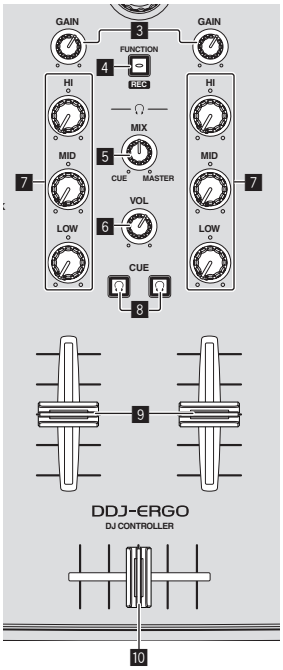
11 TEMPO スライダー
再生速度を調整します。

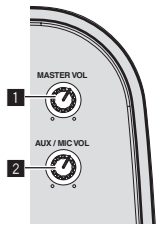
12 SYNC (MASTER) ボタン
- 押す：
  マスターデッキのテンポに同期します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  同期用マスターデッキに設定します。

13 ジョグダイヤル
- スクラッチ
  [**VINYL**] モードがオンのときにジョグダイヤルの天面を押しながら回すと、回転方向と回転速度に応じて再生します。
- ピッチベンド
  再生中にジョグダイヤルの外周部分を回すと、再生速度を調整できます。

ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。また、飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

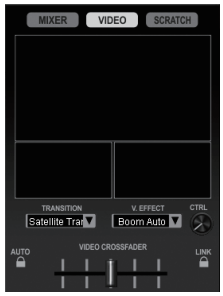
3 ミキサー





MIXER パネル

VIDEO パネル



SCRATCH パネル

1 MASTER VOL ツマミ
マスターから出力される音声レベルを調整します。
- コンピュータ画面上の [**MASTER**] ツマミとは連動しません。

2 AUX/MIC VOL ツマミ
[**AUX IN**] 端子および [**MIC**] 端子の出力音声レベルを調整します。

3 GAIN ツマミ
各デッキに入力される音声レベルを調整します。

4 FUNCTION(REC) ボタン
- 押す：
  コンピュータ画面中央の表示を切り換えます。

  [**MIXER**]パネル→[**VIDEO**]パネル→[**SCRATCH**]パネル
- [**SHIFT**] + 押す：
  録音を開始 / 停止します。

5 HEADPHONES MIX ツマミ
[**CUE**] ボタンが押してあるデッキの音声とマスター音声のモニター音量バランスを調整します。
- サンプラーの音声は [**HEADPHONES MIX**] ツマミの位置に関係なく出力されます。

6 HEADPHONES VOL ツマミ
[**PHONES**] 端子から出力される音声レベルを調整します。
- コンピュータ画面上の [**VOL**] ツマミ（ヘッドホン音量ツマミ）とは連動しません。
- [**AUX IN**] 端子に接続した外部機器または [**MIC**] 端子に接続したマイクの音声はヘッドホンからは出力されません。デッキにアサインしたときだけヘッドホンから出力されます。

7 EQ（HI、MID、LOW）ツマミ
各デッキの音質を調整します。
[**HI**]（高音域）、[**MID**]（中音域）、[**LOW**]（低音域）

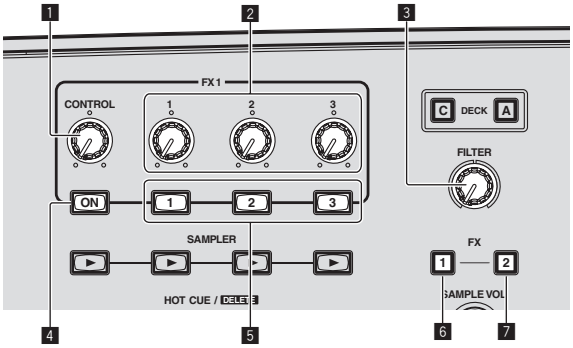
8 CUE ボタン（ヘッドホンキューボタン）
各デッキの音声をヘッドホンでモニターします。

9 チャンネルフェーダー
各デッキから出力される音声レベルを調整します。

10 クロスフェーダー
クロスフェーダーの左右にアサインされているデッキの音声を切り換えて出力します。

チャンネルフェーダーツマミおよびクロスフェーダーツマミは無理に引き抜かないでください。簡単に引き抜けない構造になっているため、ノブが壊れる可能性があります。

4 エフェクト



エフェクトパネル

1 CONTROL ツマミ
エフェクトの種類を切り換えます。

2 エフェクトパラメーターツマミ
- 回す：
  パラメーター (1 ～ 3) を調整します。
- [**SHIFT**] + 回す：
  パラメーター (4 ～ 6) を調整します。

＊ パラメーターの種類と数はエフェクトによって異なります。
＊ パラメーターツマミまたはパラメーターボタンを操作したとき、該当するパラメーターが無いときは効果がありません。
VIRTUAL DJ LE にはすべてのパラメーターをコントロールできるエフェクトはありません。
VIRTUAL DJ PRO へアップグレードすると、VIRTUAL DJ の Web サイトからさまざまなエフェクトをダウンロードできます。

3 FILTER ツマミ
- 右に回すとハイパスフィルターがかかります。
- 左に回すとローパスフィルターがかかります。

4 FX ON ボタン
エフェクトをオン / オフします。

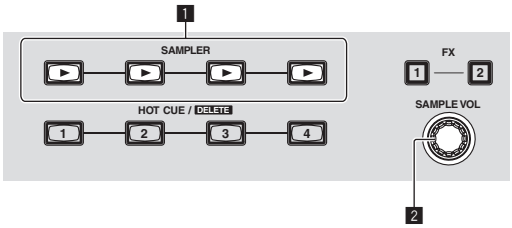
5 エフェクトパラメーターボタン
- 押す：
  パラメーター (1 ～ 3) を切り換えたり、オン / オフします。
- [**SHIFT**] + 押す：
  パラメーター (4 ～ 6) を切り換えたり、オン / オフします。

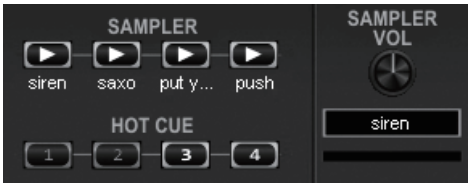
＊ パラメーターの種類と数はエフェクトによって異なります。
＊ パラメーターツマミまたはパラメーターボタンを操作したとき、該当するパラメーターが無いときは効果がありません。
VIRTUAL DJ LE にはすべてのパラメーターをコントロールできるエフェクトはありません。
VIRTUAL DJ PRO へアップグレードすると、VIRTUAL DJ の Web サイトからさまざまなエフェクトをダウンロードできます。

6 FX1 ボタン
[**BeatGrid**] エフェクトをオン / オフします。

7 FX2 ボタン
[**Flanger**] エフェクトをオン / オフします。

5 サンプラー





サンプラーパネル

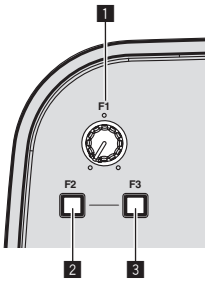
1 SAMPLER ボタン

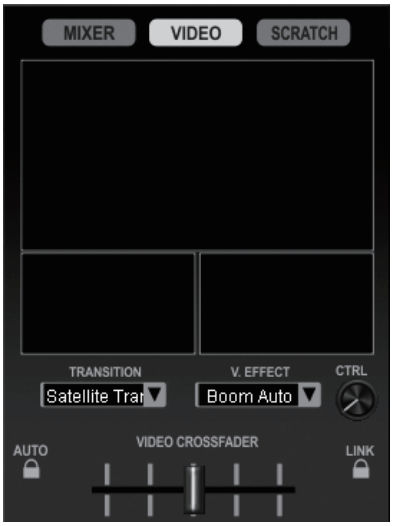
- 押す：
  サンプル音を再生 / 停止します。
- [**SHIFT**] + 押す：
  サンプル音を再生しているとき、サンプル音の先頭に戻って再生を続けます。

2 SAMPLE VOL ツマミ

- 回す：
  選んだサンプラースロットの音声レベルを調整します。
- 押す：
  サンプラーパネルを表示します。
- [**SHIFT**] + 回す：
  サンプラースロットを選びます。
- [**SHIFT**] + 押す：
  選んだサンプラースロットを再生 / 停止します。

6 ビデオ





1 F1 ツマミ
ビデオエフェクトを調整します。

2 F2 ボタン
- 押す：
  ビデオトランシジョンをオン / オフします。
  ビデオトランシジョンでは、左右のデッキの映像の入れ換え方法などを設定できます。
- [**SHIFT**] + 押す：
  ビデオトランシジョンの種類を切り換えます。

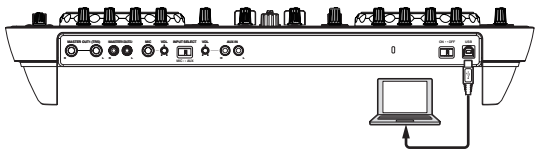
3 F3 ボタン
- 押す：
  ビデオエフェクトをオン / オフします。
- [**SHIFT**] + 押す：
  ビデオエフェクトの種類を切り換えます。

操作する（基本編）

システムを起動する

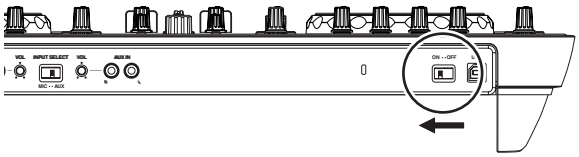
本機を起動する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する



2 接続されたコンピュータを起動する

3 本機の [ON/OFF] スイッチを [ON] の位置にスライドさせる



本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [**デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。**] メッセージが表示されることがあります。[**デバイスを使用する準備ができました。**] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

4 接続されたマイクと外部機器の電源を入れる

VIRTUAL DJ LE を起動する

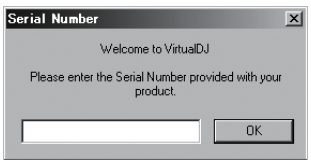
本機の起動時イルミネーションが終わってから VIRTUAL DJ LE を起動してください。

❖ VIRTUAL DJ LE を起動する (Windows)

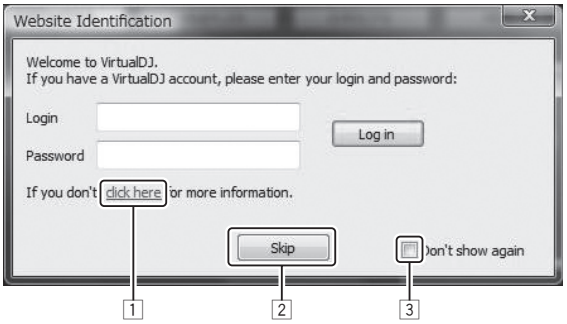
1 Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [**VIRTUAL DJ LE**] > [**VirtualDJ_LE (DDJ-ERGO)**] のアイコンをクリックする

VIRTUAL DJ LE を初めて起動したときにはシリアル番号入力画面が表示されます。

VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [**OK**] をクリックしてください。



2 [**Website Identification**] 画面が表示されたら、項目を選んでクリックする



1 [**VirtualDJ account**] について、詳しくは [**click here**] をクリックして確認してください。

2 [**Website Identification**] 画面をスキップするときは、[**Skip**] をクリックしてください。

3 起動時に [**Website Identification**] 画面を表示しないようにするときは、[**Don't show again**] にチェックを入れてください。

VIRTUAL DJ LE が起動します。

3 コンピュータ画面の右上の [CONFIG] をクリックする

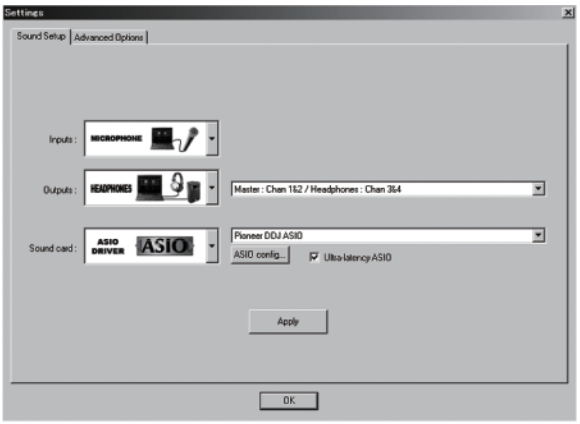
[**Settings**] 画面が表示されます。

[**Sound Setup**] タブの中の各項目を以下の順番で設定してください。

① [**Inputs**]：[**MICROPHONE**] を選ぶ

② [**Sound card**]：[**Pioneer DDJ ASIO**] を選ぶ

③ [**Outputs**]：[**Master : Chan 1&2/Headphones: Chan 3&4**] を選ぶ



4 [**Apply**] をクリックしてから [**OK**] をクリックする

❖ VIRTUAL DJ LE を起動する (Mac OS X)

1 Finder で [アプリケーション] フォルダを開いてから [**VIRTUAL DJ LE**] のアイコンをダブルクリックする

VIRTUAL DJ LE を初めて起動したときにはシリアル番号入力画面が表示されます。

VIRTUAL DJ LE ソフトウェア CD-ROM の包装に貼り付けられているシリアル番号を入力し [**OK**] をクリックしてください。

2 [**Website Identification**] 画面が表示されたら、項目を選んでクリックする

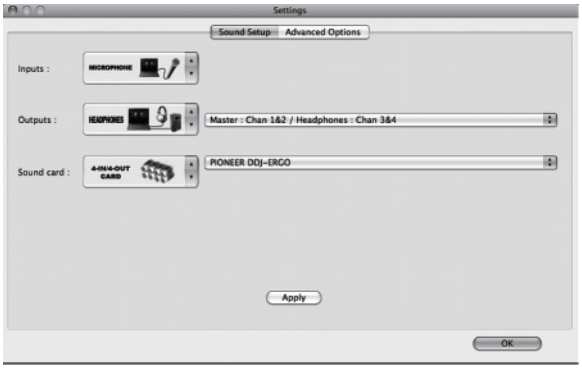
- [**VirtualDJ account**] について、詳しくは [**click here**] をクリックして確認してください。
- [**Website Identification**] 画面をスキップするときは、[**Skip**] をクリックしてください。
- 起動時に [**Website Identification**] 画面を表示しないようにするときは、[**Don't show again**] にチェックを入れてください。

VIRTUAL DJ LE が起動します。

3 コンピュータ画面の左上の [CONFIG] をクリックする

[**Settings**] 画面が表示されます。
[**Sound Setup**] タブの中の各項目を以下の順番で設定してください。

① [**Inputs**]：[**MICROPHONE**] を選ぶ
② [**Sound card**]：[**4-IN/4-OUT CARD**] および [**PIONEER DDJ-ERGO**] を選ぶ
③ [**Outputs**]：[**Master : Chan 1&2/Headphones: Chan 3&4**] を選ぶ



4 [Apply] をクリックしてから [OK] をクリックする

トラックをロードして再生する

以下では、2 デッキレイアウトでトラックを再生する方法を例にして説明します。

1 [SHIFT] ボタンを押しながらロータリーセレクターを回して、フォルダまたは項目を選ぶ

- [+] マークが付いているフォルダまたは項目を選んでいるとき、[**SHIFT**] ボタンを押しながらロータリーセレクターを押すとフォルダまたは項目を展開 / 格納します。

2 [SHIFT] ボタンから手を放してからロータリーセレクターを回して、トラックを選ぶ

3 [LOAD] ボタンを押して、選んでいるトラックをデッキにロードする

4 [▶/II] ボタンを押してトラックを再生する

- 再生中にもう一度ボタンを押すと一時停止します。

音声を出力する

- [**MASTER OUT 1**] 端子および [**MASTER OUT 2**] 端子に接続しているパワーアンプのボリュームを適切に設定してください。ボリュームを上げすぎると大音量で音声が出力されますのでご注意ください。

1 [GAIN] ツマミおよびチャンネルフェーダーを操作して、各デッキから出力される音声レベルを調整する

2 クロスフェーダーを操作して、スピーカーから音声を出力するデッキを切り換える

— 左端：[**A**] デッキまたは [**C**] デッキの音声を出力します。
— センター位置：すべてのデッキの音声をミックスして出力します。
— 右端：[**B**] デッキまたは [**D**] デッキの音声を出力します。

- コンピュータ画面中央の [**MIXER**] パネルのクロスフェーダーカーブ設定ボタンでカーブ特性を切り換えられます。
  — [THRU]：クロスフェーダーを使わないときに選びます。
  — [ ]：徐々に立ち上がるカーブになります。
  — [ ]：急峻に立ち上がるカーブになります。

3 [MASTER VOL] ツマミを回して、スピーカーの音声レベルを調整する

ミックスする

1 [TEMPO] スライダーを操作して、一方のデッキの再生速度をもう一方のデッキに合わせる

- ＋（手前）側に動かす：再生速度が速くなります。
- －（奥）側に動かす：再生速度が遅くなります。

2 2 つのデッキの拍がずれているときは、ジョグダイヤルのピッチベンド機能を使って拍のズレを修正する

再生中にジョグダイヤルの外周部分を回すと、再生速度を調整できます。

— 時計回りに回す：再生速度が加速します。
— 反時計回りに回す：再生速度が減速します。
— 回転を止める：通常の再生速度に戻ります。

- [**VINYL**] モードがオフのときは、ジョグダイヤルの天面を押しながら回して再生速度を調節できます。
- [**SYNC (MASTER)**] ボタンを押すと、2 つのデッキの再生速度と拍を瞬時に合わせられます。

3 チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを操作して、2 つのデッキの音声をミックスしながら切り換える

システムを終了する

1 VIRTUAL DJ LE を終了する

2 本機の [ON/OFF] スイッチを [OFF] の位置にスライドさせる

3 USB ケーブルをコンピュータから抜く

4 接続されたマイクと外部機器の電源を切る

操作する（応用編）

CUE を使う

1 一時停止中に [CUE] ボタンを押して、一時停止している位置にキューポイントを設定する

— ホットキューを操作していないときは、キューポイントを設定した位置が [**HOT CUE/DELETE**] ボタンの [**1**] に同時に設定されます。

— ホットキューがすでに設定されているときは、直前に操作したホットキューがキューポイントの位置に再設定されます。

2 再生中に [CUE] ボタンを押して、直前に操作したホットキューに戻り一時停止状態にする（バックキュー）

3 キューポイントに戻ったあと [CUE] ボタンを押し続けて再生を続ける（キューサンプラー）

LOOP を使う

マニュアルループ

1 再生中に [IN] ボタンを押して、ループインポイントを設定する

2 [OUT] ボタンを押して、ループアウトポイントを設定しループ再生を始める

- ループ再生中に [**OUT**] ボタンを押すと、ループ再生が解除されます。
- ループ再生中またはループ一時停止中に [**IN**] ボタンを押すと、ループインポイントに戻ってループ再生を再開します。

オートループ

1 再生中に [AUTO LOOP] ツマミを回して、ループ再生の長さを拍数で設定する

2 [AUTO LOOP] ツマミを押して、ループ再生を始める

- ループ再生中に [**AUTO LOOP**] ツマミを回すと、ループの長さを変更できます。
- コンピュータ画面の [🔒] をオンにしてからマニュアルループを設定すると、ループアウトポイントが自動で設定されます。ループアウトポイントは、オートループで設定可能な拍数（**1/8** ～ **32**）に最も近い位置に設定されます。
- コンピュータ画面の [🔒] をオフにしてからマニュアルループを設定すると、[**AUTO LOOP**] ウインドウの拍数表示部に [< _ >] が表示されます。[< _ >] が表示されている状態では、マニュアルループが有効です。オートループが有効な状態に戻すには、拍数表示が出るまで [**AUTO LOOP**] ツマミを右または左に回してください。

HOT CUE を使う

ホットキューを設定した位置から瞬時に再生できます。

- ホットキューは 1 トラックにつき 4 箇所まで設定および記憶できます。

1 再生中または一時停止中に [HOT CUE] ボタンを押して、ホットキューを設定する

2 ホットキューが設定された [HOT CUE] ボタンを押して、ホットキューを再生する

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**HOT CUE**] ボタンを押すと、設定されたホットキューを消去できます。

EFFECT を使う

各デッキに別々のオーディオエフェクトをかけられます。

1 [CONTROL] ツマミを回して、エフェクトの種類を選ぶ

2 [FX ON] ボタンを押して、エフェクトをかける

コンピュータ画面が [**EFFECT**] パネルに切り換わります。
VIRTUAL DJ LE に搭載されているエフェクトの種類は以下です。お使いのコンピュータによって使えるエフェクトの種類が異なります。

	Windows	Mac OS X
Flanger	○	○
BeatGrid	○	○[1]
FlippinDouble	○	○
overloop	○	×
BackSpin	○	○
Brake	○	○
echo	○	×

[1] Mac OS X お使いのときは、一部言語 (日本語など) の [**BeatGrid**] エフェクトパネルの文字が正しく表示されません。

- エフェクトパラメーターツマミとエフェクトパラメーターボタンを操作して、エフェクトのさまざまなパラメーターを変更できます。
- パラメーターの種類と数はエフェクトによって異なります。
- パラメーターツマミまたはパラメーターボタンを操作したとき、該当するパラメーターが無いときは効果がありません。
  VIRTUAL DJ LE にはすべてのパラメーターをコントロールできるエフェクトはありません。
  VIRTUAL DJ PRO へアップグレードすると、VIRTUAL DJ の Web サイトからさまざまなエフェクトをダウンロードできます。

SAMPLER を使う

デッキの操作とは別に 12 個のサンプラースロットの音声を操作できます。

1 [SAMPLER] ボタンを押して、サンプラースロットの再生を始める

本機の [**SAMPLER**] ボタンと VIRTUAL DJ LE のサンプラースロットは以下のように対応しています。

— 本体左側デッキの [**SAMPLER**] ボタン : サンプラースロット 1 ～ 4
— 本体右側デッキの [**SAMPLER**] ボタン : サンプラースロット 5 ～ 8

- サンプル音を再生しているときに [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SAMPLER**] ボタンを押すと、サンプル音の先頭に戻って再生を続けます。

2 [SAMPLE VOL] ツマミを回して、サンプラースロットの音量を調節する

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**SAMPLE VOL**] ツマミを押すと、選んでいるサンプルスロットを再生 / 停止できます。
- 初期状態では 6 つのスロットに音源がロードされています。
  コンピュータの [**SAMPLER**] パネルを使って、サンプラースロットに音声を録音したり、サンプラースロットの動作モードを変更することができます。[**SAMPLER**] パネルについて、詳しくは VIRTUAL DJ LE の取扱説明書をご覧ください。
- サンプラー音声を録音するときは、コンピュータ画面の [A] または [B] で選んだデッキの音声が録音されます。
  VIRTUAL DJ PRO にアップグレードすると録音した音声を保存できます。

VIDEO 機能を使う

ビデオファイルを各デッキにロードして映像をミックスできます。

- **VIDEO** 機能について詳しくは、VIRTUAL DJ LE の取扱説明書をご覧ください。

1 チャンネルフェーダーを動かして映像を出力する

— チャンネルフェーダーを一番手前の位置に設定すると、黒画面が出力されます。
— チャンネルフェーダーを奥に動かすと徐々に映像が現れます。一番奥の位置に設定すると正常な映像が出力されます。

2 クロスフェーダーを動かして映像をミックスする

- コンピュータ画面上のクロスフェーダーの右にある [**LINK**] ボタンをオンにすると、本機のクロスフェーダーでビデオトランシジョンをコントロールできます。
- コンピュータ画面上のクロスフェーダーの左にある [**AUTO**] ボタンをオンにすると、左右のデッキの再生状態に応じて自動でコンピュータ画面上のクロスフェーダーが移動します。

3 [F2] ボタンを押してビデオトランシジョンをオン / オフする

ビデオトランシジョンでは、左右のデッキの映像の入れ換え方法などを設定できます。
ビデオトランジションをオンにすると、再生中のデッキの映像から反対側のデッキの映像へ自動でクロスフェードします。

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**F2**] ボタンを押すと、ビデオトランシジョンの種類を切り換えられます。

4 [F3] ボタンを押してマスター映像にビデオエフェクトをかける

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら [**F3**] ボタンを押すと、ビデオエフェクトの種類を切り換えられます。

4 つのデッキを操作する

VIRTUAL DJ LE では、2 デッキレイアウトと 4 デッキレイアウトを選べます。
本機は 4 デッキレイアウトの操作に対応しています。

1 コンピュータ画面の [2-4 DECKS] ボタンをクリックしてデッキレイアウトを切り換える

2 [DECK] ボタンを押して操作したいデッキに切り換える

選んだデッキの [**DECK**] ボタンが点灯します。

- 4 デッキレイアウトのとき、[**DECK A**] ～ [**DECK D**] ボタンに連動して以下のようにデッキを切り換えます。
  — 本体左側デッキ：[**A**] デッキまたは [**C**] デッキ
  — 本体右側デッキ：[**B**] デッキまたは [**D**] デッキ
- 4 デッキレイアウトのとき、コンピュータ画面のクロスフェーダー両脇のアサインボタンで、各デッキの出力をクロスフェーダーの左右どちらに割り当てるか選べます。
- デッキを切り換えたとき、コンピュータ画面と本機のツマミやフェーダーの位置が異なることがあります。
  このときは、本機のツマミやフェーダーをコンピュータ画面のツマミやフェーダーと同じ位置まで動かしてください。
  デッキを切り換えたときにこの操作が必要なツマミとフェーダーは以下です。
  — **TEMPO** スライダー
  — **GAIN** ツマミ
  — **EQ** (**HI**, **MID**, **LOW**) ツマミ
  — チャンネルフェーダー
  — **FILTER** ツマミ

外部機器またはマイクの音声を入力する

[**AUX IN**] 端子に接続した外部機器または [**MIC**] 端子に接続したマイクの音声をミックスできます。

- [**AUX IN**] 端子に接続した外部機器または [**MIC**] 端子に接続したマイクの音声はデッキにアサインすることもできます。
  デッキにアサインするには、コンピュータ画面の [**AUX**] ボタンをクリックします。
  デッキにアサインするとミキサーやエフェクトの一部の機能を使えます。
  また、コンピュータ画面の [**REC**] ボタンをクリックして音声をサンプリングすることもできます。

1 [AUX IN] 端子または [MIC] 端子に外部機器を接続する

2 [AUX、MIC] 切換スイッチを切り換える

— [**AUX**]：[**AUX IN**] 端子に接続している外部機器を選びます。
— [**MIC**]：[**MIC**] 端子に接続しているマイクを選びます。

3 [AUX IN] 端子または [MIC] 端子に入力される音声レベルを調整する

— [**MIC VOL**] ツマミを回す：[**MIC**] 端子の入力音声レベルを調整します。
— [**AUX IN VOL**] ツマミを回す：[**AUX IN**] 端子の入力音声レベルを調整します。
  パイオニア製 DJ プレーヤー：センター位置付近に設定してください。
  ポータブルオーディオなど音量の小さい機器：センター位置より右に設定してください。

4 [AUX/MIC] ツマミを回して出力音声レベルを調整する

その他の機能

録音する

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [FUNCTION（REC)] ボタンを押して録音を始める

- 録音を始めると設定ウィンドウが表示されます。録音ファイルの保存場所とファイル名を設定してください。
- [**RECORD**] パネルを表示するときは [**RECORD**] タブをクリックします。録音の開始 / 停止は [**RECORD**] パネルを表示していない状態でも操作できます。

2 もう一度 [SHIFT] ボタンを押しながら [FUNCTION(REC) ボタン] を押して録音を終了する

ビートグリッドを編集する

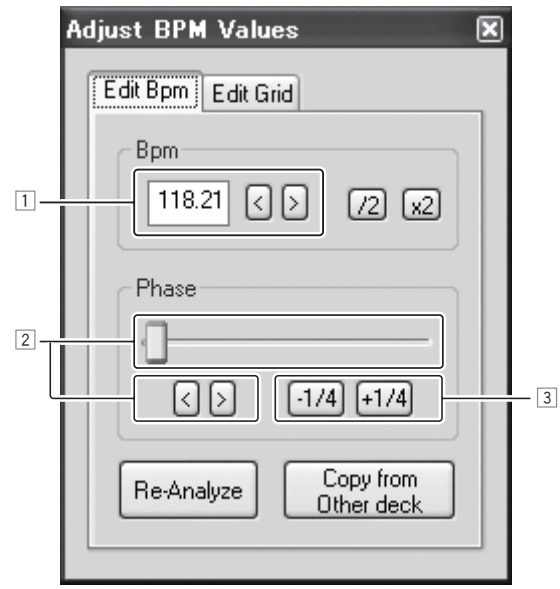
- この機能はコンピュータで操作します。本機では操作できません。

1 ビートグリッドを編集したいトラックをデッキにロードする

2 ロードしたトラックをブラウザ画面で選んで右クリックする

3 [BPM] > [Manual Edit] を選ぶ

[**Adjust BPM Values**] 画面が表示されます。



1 [**BPM**] の数字を直接入力する、または [<]、[>] ボタンを押してグリッド間隔を調整します。
2 スライダーを動かす、または [<]、[>] ボタンを押してグリッド位置を移動します。
3 [**-1/4**]、[**+1/4**] ボタンを押してグリッド位置を拍単位で移動します。

ファイルを解析する

• この機能はコンピュータで操作します。本機では操作できません。
VIRTUAL DJ LE でトラックを再生する前に、ファイルを解析することをお勧めします。
ファイルを解析すると、トラックの BPM および音階 (キー) を検出し、ビートグリッドを自動的に付与します。

1 解析したいトラックまたはフォルダを選んで右クリックする

2 メニューから [BPM] > [Re-Analyze] をクリックして解析を始める

複数のトラックまたはフォルダを選んでいるときは [**Scan for BPMs**] をクリックします。

• 解析が終わると、トラック先頭のアイコンが から に変わります。

ジョグダイヤルのイルミネーションモードを切り換える

本機は 2 種類のジョグダイヤルのイルミネーションモードを備えています。

[SHIFT] ボタンを押しながら [VINYL (PULSE MODE)] ボタンを押して、イルミネーションモードを切り換える

— Pulse Mode Active : ジョグダイヤルの青色イルミネーションでビートグリッドのずれを表します。マスターデッキおよびビートグリッドが一致したデッキは最も明るく点灯します。また、エフェクト操作に連動してジョグダイヤルのイルミネーションが点灯します。
— Pulse Mode Normal : ジョグダイヤルの天面を押したときに青色イルミネーションが点灯します。

• イルミネーションモードの設定は、本機の電源をオフしても消えません。次回起動時は電源オフする直前のモードで起動します。

MIDI メッセージ一覧

本機では、ブラウザ部、デッキ部、ミキサー部、エフェクト部が以下の MIDI チャンネルで接続されます。
- n はチャンネル番号からマイナス 1 の値です。
- **A** デッキは 0、**B** デッキは 1、**C** デッキは 2、**D** デッキは 3 になります。
- [**SHIFT**] ボタンを押しながら操作したときは、[**SHIFT**] ボタン ON 時の MIDI メッセージを送信します。
- [**SHIFT**] ボタンには MIDI メッセージの割り当てはありません。
- MIDI チャンネル 12、13 の使用はお勧めしません。

	MIDI チャンネル	MIDI ch. Value
A デッキ	1	**n=0**
B デッキ	2	**n=1**
C デッキ	3	**n=2**
D デッキ	4	**n=3**
エフェクト **A/C**	5	**n=4**
エフェクト **B/D**	6	**n=5**
ブラウザ、ミキサー、グローバルセクション	7	**n=6**

1 ブラウザ

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
ロータリーセレクター (回す)	B6	64	dd	B6	100	dd	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 ～ (最大) 30 • 左回転：127 ～ (最小) 98
ロータリーセレクター (押す)	96	65	dd	96	66	dd	OFF=0, ON=127
LOAD A ボタン	96	70	dd	96	88	dd	OFF=0, ON=127
LOAD B ボタン	96	71	dd	96	89	dd	OFF=0, ON=127
LOAD C ボタン	96	72	dd	96	90	dd	OFF=0, ON=127
LOAD D ボタン	96	73	dd	96	91	dd	OFF=0, ON=127

2 デッキ

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
▶/II ボタン	9n	11	dd	9n	71	dd	OFF=0, ON=127
CUE ボタン	9n	12	dd	9n	72	dd	OFF=0, ON=127
IN ボタン	9n	16	dd	9n	76	dd	OFF=0, ON=127
OUT ボタン	9n	17	dd	9n	77	dd	OFF=0, ON=127
AUTO LOOP (**MOVE GRID**) ツマミ (回す)	Bn	19	dd	9n	79	dd	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 ～ (最大) 30 • 左回転：127 ～ (最小) 98
AUTO LOOP (**MOVE GRID**) ツマミ (押す)	9n	20	dd	9n	80	dd	OFF=0, ON=127
DECK ボタン	9n	114	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
HOT CUE/DELETE 1 ボタン	9n	46	dd	9n	95	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE/DELETE 2 ボタン	9n	47	dd	9n	96	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE/DELETE 3 ボタン	9n	48	dd	9n	97	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE/DELETE 4 ボタン	9n	49	dd	9n	98	dd	OFF=0, ON=127
KEYLOCK (TEMPO RANGE) ボタン	9n	26	dd	9n	27	dd	OFF=0, ON=127
				9n	28	dd	OFF=0, ON=127
				9n	29	dd	OFF=0, ON=127
				9n	30	dd	OFF=0, ON=127
VINYL (PULSE MODE) ボタン	9n	21	dd	9n	22	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO スライダー	Bn Bn	0 32	MSB LSB	Bn Bn	5 37	MSB LSB	0 ～ 16383 －側で 0、＋側で 16383
SYNC (MASTER) ボタン	9n	88	dd	9n	92	dd	OFF=0, ON=127

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
ジョグダイヤル (外周部を回す)	Bn Bn	1 33	MSB LSB	Bn Bn	6 38	MSB LSB	前回操作からの差分カウント • 右回転 : 1 から増加 • 左回転 : 16383 から減少 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 2430 です。
ジョグダイヤル (天面部を回す : **VINYL** モードオン)	Bn Bn	2 34	MSB LSB	Bn Bn	39 7	MSB LSB	前回操作からの差分カウント • 右回転 : 1 から増加 • 左回転 : 16383 から減少 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 2430 です。
ジョグダイヤル (天面部を回す : **VINYL** モードオフ)	Bn Bn	3 35	MSB LSB	Bn Bn	39 7	MSB LSB	前回操作からの差分カウント • 右回転 : 1 から増加 • 左回転 : 16383 から減少 ジョグダイヤルを 1 回転させたときの差分カウント累積は 2430 です。
ジョグダイヤル (天面部を押す : **VINYL** モードオン)	9n	54	dd	9n	103	dd	OFF=0, ON=127
ジョグダイヤル (天面部を押す : **VINYL** モードオフ)	9n	55	dd	9n	103	dd	OFF=0, ON=127

インジケーター名	MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
▶/II ボタン	9n	11	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
CUE ボタン	9n	12	dd	9n	72	dd	消灯 =0, 点灯 =127
IN ボタン	9n	16	dd	9n	76	dd	消灯 =0, 点灯 =127
OUT ボタン	9n	17	dd	9n	77	dd	消灯 =0, 点灯 =127
DECK ボタン	9n	114	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
HOT CUE/DELETE 1 ボタン	9n	46	dd	9n	95	dd	消灯 =0, 点灯 =127
HOT CUE/DELETE 2 ボタン	9n	47	dd	9n	96	dd	消灯 =0, 点灯 =127
HOT CUE/DELETE 3 ボタン	9n	48	dd	9n	97	dd	消灯 =0, 点灯 =127
HOT CUE/DELETE 4 ボタン	9n	49	dd	9n	98	dd	消灯 =0, 点灯 =127
KEYLOCK (TEMPO RANGE) ボタン	9n	26	dd	9n	27	dd	消灯 =0, 点灯 =127
VINYL (PULSE MODE) ボタン	9n	21	dd	9n	22	dd	消灯 =0, 点灯 =127
SYNC (MASTER) ボタン	9n	88	dd	9n	92	dd	消灯 =0, 点灯 =127

[**SHIFT**] ボタンを押しながら [**KEYLOCK (TEMPO RANGE)**] ボタンを押すと、27 ～ 30 の MIDI メッセージを順番に繰り返し送信します。

3 ミキサー

SW 名		MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
MASTER VOL ツマミ		B6 B6	0 32	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
AUX/MIC VOL ツマミ		B6 B6	20 52	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
GAIN ツマミ	**A** デッキ	B6 B6	3 35	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	4 36	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	5 37	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	6 38	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
FUNCTION(**REC**) ボタン		96	101	dd	96	102	dd	OFF=0, ON=127
HEADPHONES MIX ツマミ		B6 B6	1 33	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
HEADPHONES VOL ツマミ		B6 B6	2 34	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383

SW 名		MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
EQ [**HI**] ツマミ	**A** デッキ	B6 B6	7 39	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	8 40	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	9 41	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	10 42	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
EQ [**MID**] ツマミ	**A** デッキ	B6 B6	11 43	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	12 44	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	13 45	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	14 46	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
EQ [**LOW**] ツマミ	**A** デッキ	B6 B6	15 47	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	16 48	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	17 49	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	18 50	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
CUE ボタン (ヘッドホンキューボタン)		96	84	dd	– –	– –	– –	OFF=0, ON=127
		96	85	dd	– –	– –	– –	OFF=0, ON=127
		96	86	dd	– –	– –	– –	OFF=0, ON=127
		96	87	dd	– –	– –	– –	OFF=0, ON=127
チャンネルフェーダー	**A** デッキ	B6 B6	19 51	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	21 53	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	23 55	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	25 57	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
クロスフェーダー		B6 B6	31 63	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左側で 0、右側で 16383

インジケーター名		MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
FUNCTION(**REC**) ボタン		96	101	dd	96	102	dd	消灯 =0, 点灯 =127
CUE ボタン (ヘッドホンキューボタン)	**A** デッキ	96	84	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	96	85	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	96	86	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	96	87	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127

VIRTUAL DJ LE ソフトフェアをお使いのとき、[**MASTER VOL**] ツマミと [**HEADPHONES VOL**] ツマミは MIDI メッセージを送信しません。

4 エフェクト

SW 名		MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
CONTROL ツマミ	**A** デッキ	B4 B4	0 32	MSB LSB	B4 B4	16 48	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B5 B5	0 32	MSB LSB	B5 B5	16 48	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B4 B4	8 40	MSB LSB	B4 B4	24 56	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B5 B5	8 40	MSB LSB	B5 B5	24 56	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
エフェクトパラメーター ツマミ 1	**A** デッキ	B4 B4	2 34	MSB LSB	B4 B4	18 50	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B5 B5	2 34	MSB LSB	B5 B5	18 50	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B4 B4	10 42	MSB LSB	B4 B4	26 58	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B5 B5	10 42	MSB LSB	B5 B5	26 58	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
エフェクトパラメーター ツマミ 2	**A** デッキ	B4 B4	4 36	MSB LSB	B4 B4	20 52	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B5 B5	4 36	MSB LSB	B5 B5	20 52	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B4 B4	12 44	MSB LSB	B4 B4	28 60	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B5 B5	12 44	MSB LSB	B5 B5	28 60	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
エフェクトパラメーター ツマミ 3	**A** デッキ	B4 B4	6 38	MSB LSB	B4 B4	22 54	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B5 B5	6 38	MSB LSB	B5 B5	22 54	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B4 B4	14 46	MSB LSB	B4 B4	30 62	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B5 B5	14 46	MSB LSB	B5 B5	30 62	MSB LSB	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
FILTER ツマミ	**A** デッキ	B6 B6	27 59	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	B デッキ	B6 B6	28 60	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	C デッキ	B6 B6	29 61	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
	D デッキ	B6 B6	30 62	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
FX ON ボタン	**A** デッキ	94	67	dd	94	64	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	67	dd	95	64	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	74	dd	94	102	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	74	dd	95	102	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトパラメーター ボタン 1	**A** デッキ	94	71	dd	94	99	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	71	dd	95	99	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	75	dd	94	103	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	75	dd	95	103	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトパラメーター ボタン 2	**A** デッキ	94	72	dd	94	100	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	72	dd	95	100	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	76	dd	94	104	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	76	dd	95	104	dd	OFF=0, ON=127
エフェクトパラメーター ボタン 3	**A** デッキ	94	73	dd	94	101	dd	OFF=0, ON=127
	B デッキ	95	73	dd	95	101	dd	OFF=0, ON=127
	C デッキ	94	77	dd	94	105	dd	OFF=0, ON=127
	D デッキ	95	77	dd	95	105	dd	OFF=0, ON=127

SW 名		MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
FX1 ボタン	**A** デッキ	96	76	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	77	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	78	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	79	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
FX2 ボタン	**A** デッキ	96	80	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	B デッキ	96	81	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	C デッキ	96	82	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127
	D デッキ	96	83	dd	–	–	–	OFF=0, ON=127

インジケーター名		MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)						備考
		SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
FX ON ボタン	**A** デッキ	94	67	dd	94	64	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	95	67	dd	95	64	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	94	74	dd	94	102	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	95	74	dd	95	102	dd	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトパラメーターボタン 1	**A** デッキ	94	71	dd	94	99	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	95	71	dd	95	99	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	94	75	dd	94	103	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	95	75	dd	95	103	dd	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトパラメーターボタン 2	**A** デッキ	94	72	dd	94	100	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	95	72	dd	95	100	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	94	76	dd	94	104	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	95	76	dd	95	104	dd	消灯 =0, 点灯 =127
エフェクトパラメーターボタン 3	**A** デッキ	94	73	dd	94	101	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	95	73	dd	95	101	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	94	77	dd	94	105	dd	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	95	77	dd	95	105	dd	消灯 =0, 点灯 =127
FX1 ボタン	**A** デッキ	96	76	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	96	77	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	96	78	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	96	79	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
FX2 ボタン	**A** デッキ	96	80	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	B デッキ	96	81	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	C デッキ	96	82	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127
	D デッキ	96	83	dd	–	–	–	消灯 =0, 点灯 =127

- [**SHIFT**] ボタンを押しながら操作したときは、[**SHIFT**] ボタン ON 時の MIDI メッセージを送信します。

5 サンプラー

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
SAMPLER ボタン 1	9n	60	dd	9n	61	dd	OFF=0, ON=127
SAMPLER ボタン 2	9n	62	dd	9n	63	dd	OFF=0, ON=127
SAMPLER ボタン 3	9n	64	dd	9n	65	dd	OFF=0, ON=127
SAMPLER ボタン 4	9n	66	dd	9n	67	dd	OFF=0, ON=127
SAMPLE VOL ツマミ (回す)	Bn	68	dd	Bn	73	dd	前回操作からの差分カウント値 • 右回転：1 ～ (最大) 30 • 左回転：127 ～ (最小) 98
SAMPLE VOL ツマミ (押す)	9n	69	dd	9n	74	dd	OFF=0, ON=127

インジケーター名	MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
SAMPLER ボタン 1	9n	60	dd	9n	61	dd	消灯 =0, 点灯 =127
SAMPLER ボタン 2	9n	62	dd	9n	63	dd	消灯 =0, 点灯 =127
SAMPLER ボタン 3	9n	64	dd	9n	65	dd	消灯 =0, 点灯 =127
SAMPLER ボタン 4	9n	66	dd	9n	67	dd	消灯 =0, 点灯 =127

6 ビデオ

SW 名	MIDI メッセージ (本機→コンピュータ)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
F1 ツマミ	B6 B6	22 54	MSB LSB	– –	– –	– –	0 ～ 16383 左回しきり : 0 / 右回しきり :16383
F2 ボタン	96	105	dd	96	106	dd	OFF=0, ON=127
F3 ボタン	96	107	dd	96	108	dd	OFF=0, ON=127

SW 名	MIDI メッセージ (コンピュータ→本機)						備考
	SHIFT ボタン OFF 時			SHIFT ボタン ON 時			
F2 ボタン	96	105	dd	96	106	dd	消灯 =0, 点灯 =127
F3 ボタン	96	107	dd	96	108	dd	消灯 =0, 点灯 =127

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、31ページ の「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしてから 1 分後に再度電源をオンにすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
本機が認識されない。	電源の [**ON/OFF**] スイッチは [**ON**] になっていますか？	電源の [**ON/OFF**] スイッチを [**ON**] にしてください。
	付属のUSBケーブルが正しく接続されていますか？	付属の USB ケーブルを正しく接続してください。（10ページ）
	USB ハブを使っていませんか？	USB ハブは使えません。コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。（10ページ）
	–	Windows をお使いのときは、VIRTUAL DJ LE の [**CONFIG**] ボタンを押して [**Sound Setup**] タブの中にある [**Sound card**] 設定が [**ASIO DRIVER**] および [**Pioneer DDJ ASIO**] を選んでいるか確認してください。（18ページ）
本機と VIRTUAL DJ LE のツマミやスライダーの位置が異なる。	–	本機のツマミやスライダーを動かすと、VIRTUAL DJ LE のツマミやスライダーが同期します。
音楽ファイルを再生できない。	音楽ファイルが壊れていませんか？	壊れていない音楽ファイルを再生してください。
音が歪む。	[**GAIN**] ツマミが正しい位置に設定されていますか？	VIRTUAL DJ LE のレベルインジケーターを見て、[**GAIN**] ツマミを調整してください。
	[**AUX IN**] 端子、[**MIC**] 端子に入力される音声レベルは適切に設定されていますか？	接続する機器に合わせて各端子に入力される音声レベルを適切に設定してください。
	[**MASTER OUT 1**] 端子をモノラルケーブルでアンバランス出力にしていませんか？	アンバランス出力時は、出力を適切なレベルにしないと音が歪みます。[**MASTER VOL**] ツマミで出力を適切なレベルに設定してください。
再生中の音声がとぎれる。	本機と接続しているコンピュータが AC 電源に接続されていますか？	ノート型コンピュータをバッテリー駆動で使うと電源管理システムがバッテリー省エネモードになり、CPU のクロック周波数が下がることがあります。このとき、音声ノイズが発生したり、操作が遅くなったりすることがあります。本機を接続するコンピュータは、AC 電源に接続してください。
	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値は適切ですか？	ドライバソフトウェアのレイテンシーの値を適切に設定してください。(7ページ)
外部機器またはマイクの音声を出力できない。	[**AUX**、**MIC**] 切換スイッチの位置が正しく設定されていますか？	出力したい機器に合わせて [**AUX**、**MIC**] 切換スイッチを切り換えてください。(22ページ)
ヘッドフォンの音量が小さい。	[**DECK**] ボタン [**A**]、[**B**]、[**C**] または [**D**] が点滅していませんか？	エマージェンシー (機能制限) モードで動作しています。お使いのコンピュータおよびヘッドホンを確認してください。(9ページ)
音が出ない。	付属のUSBケーブルが正しく接続されていますか？	コンピュータと本機を付属の USB ケーブルで直接接続してください。USB ハブは使えません。（10ページ）
	端子やプラグが汚れていませんか？	端子やプラグの汚れを拭き取ってから接続してください。
	ドライバソフトウェアは正しく設定されていますか？	ドライバソフトウェアを正しく設定してください。（7ページ）
	接続しているコンポやアンプは正しく設定されていますか？	コンポやアンプの外部入力の切り換えや音量を正しく設定してください。
[**SYNC**] 機能が正しく働かない。	音楽ファイルが正しく解析されていますか？	音楽ファイルの解析結果が正しくないときは、ビートグリッドを手動で編集してください。(22ページ)
ASIO ドライバを設定すると音が途切れる	VIRTUAL DJ LE を起動したまま ASIO ドライバを設定していませんか？	ASIO ドライバは VIRTUAL DJ LE を起動する前に設定してください。(7ページ)
録音したサンプラー音声が保存できない。 サンプラースロット 7 またはサンプラースロット 8 にサンプラー音声を登録できない。	–	録音したサンプラー音声の保存および呼び出し機能は、VIRTUAL DJ PRO へアップグレードするとお使いいただけます。
エフェクトパラメーターボタンをコントロールできるエフェクトがない。	–	Windows をお使いのときは [**overloop**] を使うときにエフェクトパラメーターボタン 1 ～ 5 を使えます。 Mac OS X をお使いのときはエフェクトパラメーターボタンを使えるエフェクトはありません。 VIRTUAL DJ PRO へアップグレードすると、VIRTUAL DJ の Web サイトからさまざまなエフェクトをダウンロードできます。
エフェクトパラメーターツマミ 3 ～ 6 をコントロールできるエフェクトがない。	–	エフェクトパラメーターツマミ 3 ～ 6 は、VIRTUAL DJ PRO へアップグレードするとお使いいただけます。 VIRTUAL DJ PRO へアップグレードすると、VIRTUAL DJ の Web サイトからさまざまなエフェクトをダウンロードできます。
Windows XP をインストールしたコンピュータがフリーズする、または CPU 使用率が 100 % になる。	VIRTUAL DJ LE を起動したまま本機の電源をオフしたり、使用中に USB ケーブル抜いていませんか？	必ず VIRTUAL DJ LE を終了してから本機の電源をオフしてください。また、使用中は USB ケーブルを抜かないでください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
VIRTUAL DJ LE を起動した後、本機を起動すると通信できない。ボタンおよびツマミの操作が連動しない、または LED が光らない。	コントローラーまたは VIRTUAL DJ LE の起動順序を間違えていませんか？	Windows をお使いのときは、VIRTUAL DJ LE の [**CONFIG**] ボタンを押して [**Sound Setup**] タブの中にある [**Sound card**] 設定が [**ASIO DRIVER**] および [**Pioneer DDJ ASIO**] を選んでいるか確認してください。（18ページ）
録音できない。	録音先のファイルパスに 2 バイトコード (日本語など) が含まれていませんか？	録音先のファイルパスに 2 バイトコード (日本語など) が含まれないように設定してください。
VIRTUAL DJ LE を起動してもコンピュータ画面に何も表示されない。	お使いのコンピュータのディスプレイ解像度は 1 024 × 768 以上ですか？	タスクバーを右クリックしてタスクマネージャを起動してください。タスクマネージャの [**アプリケーション**] タブで [**VIRTUAL DJ LE**] を右クリックして [**最大化**] を選んでください。

他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用する

本機はボタンやツマミなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたコンピュータと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。
他の DJ ソフトウェアのコントローラーとして使用するときは、あらかじめ DJ ソフトウェアのオーディオおよび MIDI に関する設定も行ってください。
詳しくはお使いの DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

別紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の 30ページ の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DJ コントローラー
- 型番：DDJ-ERGO-V
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A1_Ja

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel、Intel Core、および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- VirtualDJ は Atomix Productions の登録商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

仕様

本体一般

電源 ..... DC 5 V
消費電流 ..... 500 mA
本体質量 ..... 2.9 kg
最大外形寸法
..... 554.8 mm（幅）× 103.2 mm（高さ）× 279.8 mm（奥行）
許容動作温度 ..... + 5 ˚ C ～ + 35 ˚ C
許容動作湿度 ..... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

オーディオ部

定格出力レベル
MASTER OUT 1 ..... 4.2 Vrms
MASTER OUT 2 ..... 2.1 Vrms
全高調波歪率
MASTER OUT 1 ..... 0.006 %
MASTER OUT 2 ..... 0.006 %
周波数特性
MASTER OUT 1 ..... 20 Hz ～ 20 kHz
MASTER OUT 2 ..... 20 Hz ～ 20 kHz
S/N 比 (コンピュータ再生時)
MASTER OUT 1 ..... 101 dB (定格出力時)
MASTER OUT 2 ..... 101 dB (定格出力時)
入力インピーダンス
AUX ..... 24 kΩ
MIC ..... 11 kΩ
出力インピーダンス
MASTER OUT 1 ..... 1 kΩ 以下
MASTER OUT 2 ..... 1 kΩ 以下
PHONES ..... 10 Ω 以下
入力 / 出力端子
USB 端子
B タイプ ..... 1 系統
MASTER OUT 1 出力端子
TRS フォーンジャック (Ø 6.3 mm) ..... 1 系統
MASTER OUT 2 出力端子
RCA ピンジャック ..... 1 系統
PHONES 出力端子
ステレオフォーンジャック (Ø 6.3 mm) ..... 1 系統
ステレオミニフォーンジャック (Ø 3.5 mm) ..... 1 系統
AUX 入力端子
RCA ピンジャック ..... 1 系統
MIC 入力端子
フォーンジャック (Ø 6.3 mm) ..... 1 系統

本機および付属ソフトウェアの仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

For U.S.A. customers and Canada customers
Pour la clientèle aux États-Unis et la clientèle au Canada
Para clientes de los EE.UU. y de Canadá

To register your product, find the nearest authorized service location, to purchase replacement parts, operating instructions, or accessories, please go to one of following URLs :

Pour enregistrer votre produit, trouver le service après-vente agréé le plus proche et pour acheter des pièces de rechange, des modes d'emploi ou des accessoires, reportez-vous aux URL suivantes :

Para registrar su producto, encuentre el centro de servicio autorizado más cercano; para adquirir piezas de recambio, manuales de instrucciones o accesorios, visite uno de los URL siguientes :

In the USA/Aux Etats-Unis/En los EE.UU.

http://www.pioneerelectronics.com

In Canada/Aux Canada/En Canadá

http://www.pioneerelectronics.ca

S018_B1_EnFrEs

Для российских клиентов

Примечание:
В соответствии со статьей 5 Закона Российской Федерации "О защите прав потребителя" и Указанием Правительства Российской Федерации № 720 от 16 июня 1997 года корпорация Pioneer Europe NV устанавливает условие на следующую продолжительность срока службы официально поставляемых на Российский рынок товаров.

Аудио и видеооборудование: 7 лет
Переносное аудиооборудование: 6 лет
Другое оборудование (наушники, микрофон и т.д.): 5 лет
Автомобильная электроника: 6 лет

D3-7-10-6_A1_Ru

ⓒ 2011 パイオニア株式会社
禁無断転載
© 2011 PIONEER CORPORATION.
All rights reserved.
© 2011 PIONEER CORPORATION.
Tous droits de reproduction
et de traduction réservés.

PIONEER CORPORATION
1-1, Shin-ogura, Saiwai-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 212-0031, Japan

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

Корпорация Пайонир
1-1, Син-Огура, Сайвай-ку, г. Кавасаки, префектура Канагава, 212-0031, Япония

Импортер: ООО "ПИОНЕР РУС"
125040, Россия, г. Москва, ул. Правды, д.26 Тел.: +7(495) 956-89-01

PIONEER EUROPE NV
Haven 1087, Keetberglaan 1, B-9120 Melsele, Belgium TEL: 03/570.05.11

PIONEER ELECTRONICS (USA) INC.
P.O. BOX 1540, Long Beach, California 90801-1540, U.S.A. TEL: (800) 421-1404

PIONEER ELECTRONICS OF CANADA, INC.
340 Ferrier Street, Unit 2, Markham, Ontario L3R 2Z5, Canada TEL: 1-877-283-5901, 905-479-4411

PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE PTE. LTD.
253 Alexandra Road, #04-01, Singapore 159936 TEL: 65-6472-7555

PIONEER ELECTRONICS AUSTRALIA PTY. LTD.
5 Arco Lane, Heatherton, Victoria, 3202, Australia, TEL: (03) 9586-6300

PIONEER ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
17th Fl., KPN Tower, 719 Rama 9 Road, Bangkapi, Huaykwang, Bangkok 10310 TEL: 66-2-717-0777

PIONEER TECHNOLOGY (MALAYSIA) SDN. BHD
16th Floor, Menara Uni. Asia 1008 Jalan Sultan Ismail 50250 Kuala Lumpur TEL: 60-3-2697-2920

先鋒股份有限公司
台灣台北市內湖區瑞光 407 號 8 樓 TEL: 886-(0)2-2657-3588

先鋒電子（香港）有限公司
香港九龍長沙灣道 909 號 5 樓 TEL: 852-2848-6488

PIONEER GULF FZE
Lob 11-017, Jebel Ali Free Zone P.O. Box 61226, Jebel Ali Dubai TEL: 971-4-8815756

PIONEER ELECTRONICS DE MEXICO S.A. DE C.V.
Blvd.Manuel Avila Camacho 138 10 piso Col.Lomas de Chapultepec, Mexico, D.F. 11000 TEL: 55-9178-4270

PIONEER INTERNATIONAL LATIN AMERICA S.A.
Plaza Credicorp Bank, 14th Floor, Calle 50, No.120 Panama City 0816-01361 Republic of Panama TEL: 507-300-3900

<DRU1001-A-JA>